

オリジナル道徳教材

高学年 親切、思いやり

# 『思いやりの行動』



作…かないともゆき

絵…なぐもゆうと

先日、学活の授業で「見えない大変さがある人」について考えた。授業をうけて、わたしはそのような大変さがある人たちには親切にやさしくしてあげたいと感じた。

以前、先生がクラスメイトのトモ君は、字を読むときに見えにくいときがあるのだと話をしていたのを思い出した。

トモ君と低学年のころから一緒に遊ぶことが多かった

わたしは、さっそく総合の時間にタブレットで調べた内容をノートに写す活動を手伝ってあげた。

「ありがとう。」

と、トモ君にお礼を言われたので、わたしはうれしい気持ちになった。

次の総合の時間も、トモ君がタブレットにうつっている文字を時間をかけて読んでいたので、わたしは代わりに読んで、ノートにうつしてあげた。トモ君は、

「ありがとう。」

と、お礼を言ってくれた。



しばらくすると、総合の時間は班ごとにわかれて、それぞれが調べたことをまとめて発表のじゅんびをする活動になった。わたしとトモ君はちがう班だ。トモ君と同じ班のマー君とヨウコさんの会話が聞こえてきた。

「アツシ君、ちよつとひどいよね。」

アツシ君は、行事のときには、いろいろな人に声をかけてクラスを引っ張っていくリーダー的存在である。

気になってトモ君のいる班の様子を見に行ってみると、アツシ君とトモ君が発表の練習をしていた。

「トモ君、もう一回、今のところを練習してみよう。」

トモ君は、字を読むのが苦手なので、発表の原こうを読むのに苦戦していて、アツシ君と何度も練習をしていたのだ。

「読むのが苦手なのだから、代わりに読んであげればいいのに……」

と、わたしは思った。

総合の時間の発表の日、やはりトモ君は一文字ずつゆっくりと原こうを読んで発表を行った。時間はかったが、最後まで発表をすることができた。

発表を終えたトモ君は、

「ありがとう。」

と、アツシ君にお礼を言った。

トモ君の満足そうな表情を見て、わたしは今までの自分の行動を思い返した。